

# NPO法人ペット防災ネットワーク 令和7年度 活動報告書



NPO法人  
ペット防災ネットワーク

### はじめに

令和7年4月、私たちは新たに「NPO法人ペット防災ネットワーク」を設立いたしました。

熊本地震の発生から10年が経過し、ペット防災に関する民間資格や団体は確かに増えました。しかし、社会全体として実効性のある対策が進んでいるとは言い難く、直近の能登半島地震に至るまで、災害のたびにペット同行避難の現場における混乱が繰り返されているのが現状です。

「もし今、再び大災害が起きれば、必ず避難現場は混乱に陥り、熊本地震の時と同じ状況が繰り返されてしまう」。これまでの支援活動や現場経験から、私たちは現在のペット防災のあり方に強い危機感を抱いています。このままでは、いざという時に人とペットの安全を確保することは困難です。

この状況を変え、これまでの活動をさらに加速させるため、現場の厳しい現実を熟知し、同じ課題意識を共有できる信頼できる仲間たちと共に本法人を立ち上げました。

私たちの目的は、「災害時においても、人とペットが共に安全に過ごせる社会」の実現です。これまでの知見を活かし、自らが主体となって実効性のある対策を牽引します。具体的には、飼い主に対して普段からの適正飼養の徹底を促すとともに、自治体へは「被災者支援としてのペット支援体制」の構築を働きかけてまいります。

平時から機能する現実的なルール作りを進め、ペット防災を社会インフラ化すべく、着実に歩みを進めてまいります。

本報告書では、これらの柱に基づいた令和7年の活動として、当法人が各地で取り組んできた軌跡をまとめております。人とペットの命を守るための私たちの具体的な歩みと現場の現状を、次ページよりぜひご一読ください。

「ペット防災みんなの安心」  
NPO法人ペット防災ネットワーク

## 活動報告記録

### 【活動報告】 徳島県ペット防災セミナー

日時： 6月10日

場所： 徳島県藍住町（会場およびオンラインのハイブリッド開催）

6月10日、当法人のサポート企業である貴志商店様からのご依頼で、徳島県藍住町で開催された徳島県ペット防災セミナー「災害時のペット支援のあり方と官民連携」におきまして、当法人が講師として登壇いたしました。本セミナーは会場とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式で実施され、地域の自治体関係者やペット関連事業者の皆様幅広くご参加いただきました。

講演では、喫緊の課題である南海トラフ地震のリスクを見据え、災害時におけるペットとの「同行避難」の本当の意味とその重要性について解説いたしました。さらに、国の防災基本計画や環境省の指針に加え、熊本地震をはじめとする被災現場で私たちが直面してきた現実をお伝えしました。その上で、平時から機能する実効性のあるペット支援体制の構築と、真の意味での「官民連携」のあり方について具体的な提言を行いました。本セミナーが、徳島県におけるペットの災害対策をさらに推進する一助となることを心より願っております。



## 活動報告記録

### 【活動報告】 福岡市飼い主向けセミナー

日時： 9月24日（水）

場所： 福岡市南区「P2西長住店 Love Nature Charity 棟」

福岡市からのご依頼を受け、地域の飼い主様を対象としたペット防災セミナーを開催いたしました。本開催に先立ち、福岡市の動物愛護管理センターや生活衛生課とミーティングを実施し、現場に根差した同行避難所の運営や支援体制の構築に向けた行政との協議も行っております。

当日はペット同伴可能な形式で実施し、約2時間静かに待機する犬たちの姿から「日頃のしつけ」と信頼関係の重要性を体現する場となりました。講義では当法人監修のガイドブックや実際の被災地の写真を交え、「飼い主自身の安全確保」「ハウストレーニングや健康管理等の適正飼育」「ローリングストック法による5~7日分の備蓄」という、今すぐできる具体的な3つの柱について解説しました。

参加者の皆様には、ペット防災を「自分ごと」として捉え、「いつか」ではなく「今から」日々の暮らしの中で始める備えの重要性をお伝えしました。今後も連携を深め啓発に努めます。



## 活動報告記録

### 🐾 【活動報告】日野市ペット防災セミナー

日時：2026年1月16日（金）

場所：東京都日野市（日野市民の森ふれあいホール）

ひのぺつとぼうさい様からのご依頼を受け、東京都日野市にて開催されたセミナー「災害とペット避難 2026 ～みんなで考えてみよう、このまちの防災～」に講師として登壇いたしました。当日は飼い主をはじめ行政職員、議員、動物愛護・医療・防災関係者など多様な立場の方々にご参加いただきました。

第1部では「何故、同行避難が必要か」を講演し、第2部のグループワークでは熱心な議論が行われました。実効性のあるペット防災体制は「地域住民・ボランティア・行政」の三者が連携し、その土地の実情に合わせて作り上げることが不可欠であるとお伝えしました。

終了後のアンケートでは以下の声が寄せられました。

「災害時のペットの問題は動物の問題ではなくて被災者支援の問題」（20代）

「『人命優先だからこそ、同行避難』大変勉強になりました。」  
（80代・日野市）

「ペットの受入れ基準をしっかりと決めておくなど、今後マニュアルを改訂していく上で役に立ちました。」（70代・社協）

disaster prevention  
for domestic animal

みんなで考えてみよう、このまちの防災

# 災害と ペット避難

2026  
1月16日（金）13:00-16:00

参加料  
500円

会場：日野市民の森ふれあいホール2階コミュニティホール  
日野市日野本町6-1-3

あなたの地域の避難所はペット受入の準備ができていますか？  
人間だけでも大変なのに動物が来るなんて不安！トラブルが起きるんじゃないか？  
ペット飼ってない人には関係ないでしょ？  
いえいえ、今やペットがいる家庭は全体の30%！みんなに関わる課題です  
そんな疑問や不安のある方へ向け、熊本地震で実際に避難所でペット管理責任者  
をされた経験と専門知識をお持ちの講師をお招きし、ペット同行避難者の受入  
に必要なことは何か、どんな事前準備が必要なのかをお話しします

conference

1 講演「災害時のペット支援とは」  
～何故、ペット同行避難が必要なのか？～  
講師 富士岡剛氏 Tsugoshi Fujioka  
ペット災害危機管理士1級特別講師  
NPO法人ペット防災ネットワーク理事長



2 グループワーク&質疑応答  
参加者同士で感じたこと、今からできることを一緒に考えてみましょう  
講師への質問時間もあります

★お申込みはQRコードから★→→→



お問合せ 電話：080-5693-1616(田中) メール:musicot.takabam@gmail.jp  
主催：ひのペットぼうさい 協力：日野市社会福祉協議会

## 活動報告記録

### 🐾 【活動報告】 千葉県柏市ペット防災セミナー

日時： 2026年1月17日（土）

場所： 千葉県柏市（ウェルネス柏）

かしわ動物福祉・共生協会様主催の「飼い主さんのためのペット防災セミナー」に登壇し、柏市内外から約30名が参加されました。講義では、防災グッズ等の前に「災害時にペットを守れるのは行政でもボランティアでもなく飼い主自身である」という『飼い主としての責任と覚悟』を強く訴えました。また、今年旅立った愛猫とのエピソードを交え、命の尊さをお話ししました。セミナーを通じ、参加された皆様からは以下の想いが寄せられました。

「防災のテクニック以上に、飼い主としての責任と日頃の備えの大切さを痛感しました」

「ペットの命を守れるのは自分だけだという覚悟を、改めて強く持ちました」

「動物と暮らす日々の奇跡のお話に、命の重みと愛情を再確認しました」

また、聴講された動物愛護ふれあいセンターの職員様からは「これまで色々なペット防災セミナーを聴講してきましたが、一番素晴らしい内容でした」という大変光栄なご感想をいただきました。



## 🐾 【活動報告】 東京セミナー

日時：2026年1月18日（日）

場所：東京都千代田区（貸会議室 内海）

東京都千代田区にて、当法人主催のセミナー「災害時のペット同行避難への備え」を開催いたしました。今回は都市部特有の住宅事情に焦点を当て、平時の「適正飼養」がいかに災害時の「減災」につながるかをテーマに二部構成で実施しました。

第1部では理事の岩瀬が登壇し、集合住宅における動物飼養細則や「ペット倶楽部」を通じたコミュニティ形成の重要性について、法的・社会的背景を交えて解説しました。参加者からは「管理規約の重要性や法的背景を再認識した」といった声が多く寄せられ、実践的な学びの場となりました。

第2部では理事長の富士岡が被災地支援の最前線で培った経験を基に、実践的なノウハウについて講演いたしました。当日は関東近郊のサポーターの皆様とも直接交流を図ることができ、都市部におけるペット防災への関心の高さを実感しました。今後も関東地域での継続的なセミナー開催と情報発信に努めてまいります。

 NPO法人  
ペット防災ネットワーク 主催セミナー

# 災害時の ペット同行避難への備え

日時 2026年  
1月18日（日） 午前10時 開場

場所 貸会議室 内海 4F 教室  
（東京都千代田区神田三崎町3-6-15 東京学院ビル）

会費 4,000円（事前振込・キャンセル時返金不可）

第1部 10:30~11:50

ペット防災のためにも  
集合住宅で準備しておくべき  
動物飼養細則と  
ペット倶楽部

NPO法人ペット防災ネットワーク理事  
NPOアニマルワン代表理事  
(株)ペットクリエーション代表取締役



講師 岩瀬 晃彦

第2部 13:00~15:00

災害時の  
ペット支援のあり方

NPO法人ペット防災ネットワーク理事長  
福岡市動物の愛護と管理推進協議会委員



講師 富士岡 剛

近年、大規模災害が頻発する中で「ペットとの同行避難」は避けて通ることのできない課題となっています。しかし、いざ災害が発生したとき、現場では準備不足による混乱が繰り返されているのが現状です。

本セミナーでは、都市部における「集合住宅での備え」と、被災地支援の最前線から導き出された「実践的な支援ノウハウ」の2つの視点から、実効性のあるペット防災を考えます。

【主催】 NPO法人ペット防災ネットワーク

【共催】 NPO法人アニマルワン

お申し込み・お問い合わせはメールにて承ります ✉ seminar@petbousai.jp

### 【活動報告】 福岡市動物の愛護と管理推進協議会

「福岡市動物の愛護と管理推進協議会」の委員として、福岡市のペット災害対策に向けた継続的な提言を行っております。同協議会は行政・獣医師会・有識者・市民代表などが集う重要な場です。私は委員を5年にわたり務め、被災地支援の経験とNPO法人としての現場の視点から行政への働きかけを続けてまいりました。

これまでの協議会の中では、大きく以下の2点を強く提言しています。1点目は「指定避難所ごとのペット受け入れ情報の具体化と周知」です。発災時の混乱の中、飼い主が迷わず行動するためには、どの避難所のどの場所で受け入れるかという具体的な事前情報が不可欠です。

2点目は「防災部局との緊密な連携」です。ペット防災は被災者支援そのものであり、避難所を所管する防災部局が主体的に関わらなければ現場の実効性は伴いません。計画書上の対策ではなく、現場で確実に命を守れる運用が急務です。今後も実効性のある取り組みを求めます。

### 【メディア掲載】

2025年度、NPO法人ペット防災ネットワークは、ペット防災の正しい知識と日頃の備えの重要性を広く社会へ啓発するため、多様な媒体を通じて積極的な情報発信に取り組みました。

今年度は、Webメディア「となりのカインズさん」の記事『猫の抜け毛が火災の原因になると聞いて焦ったのでペット防災の専門家に相談してみた』、Yahoo!ニュース オリジナル特集『「うちの子と、どこへ逃げる？」災害時のペット避難の未来』、マガジンハウスのムック本『クロワッサン特別編集 防災の基本。』、雑誌「いぬのきもち」7月号『災害から愛犬を守る夏のサバイバル術』の計4媒体において、記事の監修および取材協力を行いました。

災害時におけるペットの問題は地域社会全体の課題でもあるからこそ、当法人では今後も各種メディアを通じた積極的な発信を継続します。専門的で価値ある情報を広く届けることで、社会全体のペット防災リテラシー向上を目指します。

### 【おわりに】皆様への感謝と今後のご支援のお願い

令和7年度の活動を無事に進めることができましたのは、ひとえに日頃よりNPO法人ペット防災ネットワークの理念に深くご賛同いただき、温かいご支援をお寄せくださっている個人のサポーターの皆様、ならびにサポート企業の皆様のおかげです。スタッフ一同、心より深く感謝申し上げます。

本報告書でお伝えしてまいりました通り、「災害時においても人とペットが共に安全に過ごせる社会」の実現は、一朝一夕に成し遂げられるものではありません。いつどこで起きるかわからない災害に対し、現場に根差した実効性のあるペット支援体制を全国に広げ、地域の啓発活動や専門人材の育成を安定して継続していくためには、皆様からの継続的なお力添えがどうしても不可欠です。どうか今後とも、私たちの活動に変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本年度の事業に伴う収支報告書につきましては、当法人の定款に基づき、所定の手続きを経た後、「内閣府NPO法人ポータルサイト」にて公開予定となっております。透明性を持った確実な法人運営に努めてまいりますので、後日そちらも併せてご確認いただけますと幸いです。

人とペットの命を守るための私たちの歩みを、これからも共に支えていただきますよう、心よりお願い申し上げます。

#### 収支報告について

詳細は内閣府NPO法人ポータルサイトにて定款に基づき公開します (<https://www.npo-homepage.go.jp/>)